

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ニチレイ（証券コード:2871）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
発行登録債予備格付	A+
国内CP格付	J-1

■格付事由

- 冷蔵倉庫は国内最大手で、冷凍食品は大手の一角を占める。加工食品事業は、主力の米飯類やチキン加工品の冷凍食品を中心に業務用、家庭用ともに強みを有する。海外では、タイにチキン加工品の生産拠点を有するほか、米国の子会社ではアジアフーズを販売している。低温物流事業は、畜産品、水産品、加工食品など食料の保管及び運送を中心としており、需要は安定している。海外での事業基盤も強化しており欧州、中国、ASEANにも拠点を有している。この他にも、水産、畜産物の販売や不動産事業を手掛けるなど事業内容は多岐にわたる。
- 厳しい事業環境の中でも業績は底堅く推移すると想定している。加工食品事業では原材料価格の高騰、円安などコストアップの影響を受けている。ただ、冷凍食品市場は成長が見込まれること、当社のブランド力を背景に価格改定は進むとみられることから収益力を維持することは可能と考えられる。低温物流事業では、国内の旺盛な需要や海外事業の強化が進んだことで今後も安定した業績推移が見込まれる。良好な財務構成は維持可能とみられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3期営業利益は315億円（前期比0.3%増）と前期並みの計画。足元では加工食品事業の価格改定はおおむね計画通りに進んでおり、コストアップのマイナス影響を軽減している。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う労働力不足で稼働率が低下したタイ工場では生産が回復しており、業績に寄与する見込みである。低温物流事業では電力コストの増加が進んでいるものの、業務効率化や電力料金サーチャージ制の収受により利益を確保していく。
- 22/3期末の自己資本比率49.4%であるなど財務構成は良好な水準にある。25/3期までの中期経営計画期間中に加工食品での生産能力増強、冷蔵倉庫の新設、環境対応など総額1,200億円の投資を計画している。ただ、D/Eレシオは0.5倍を目安にするなど財務健全性に配慮して進めていくことから、現状の財務構成が悪化する懸念は小さいと考えられる。

（担当）井上 肇・三浦 麻理子

■格付対象

発行体：株式会社ニチレイ

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年10月25日	2023年10月25日	0.190%	A+
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年8月30日	2025年8月29日	0.250%	A+
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年8月31日	2027年8月31日	0.240%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年11月26日	2028年11月24日	0.170%	A+
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	500億円	2022年7月12日から2年間		A+	
対象	発行限度額	格付			
コマーシャルペーパー	300億円	J-1			

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2022年11月8日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：井上 肇
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「食品」（2021年6月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社ニチレイ
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、1発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル